

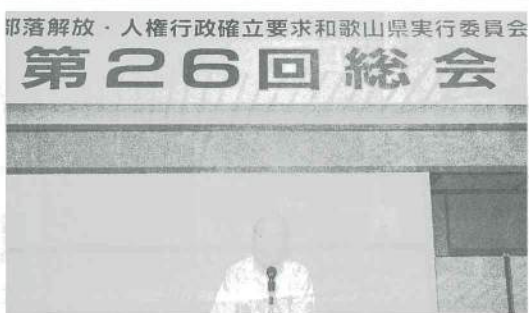
部落解放・人権行政確立要求 和歌山県実行委員会 第26回総会

部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会第26回総会が、8月4日、和歌山市のダイワロイネットホテルでひらかれ、各構成団体から140人が参加した。厳しい社会的・政治的情況のもとで、強固な闘いの体制づくりの再構築を誓い合った。

闘いの再構築をめざし

藤本哲史・同実行委員会事務局長（県連書記長）が基調で、解放運動を部落大衆の手にとりもどした部落

解放同盟県連第19回大会の意義と闘いの到達点を評価しながら、第2次安倍内閣の戦後レジームへの回帰、国権主義、反人権主義、生活・福祉政策の後の政治がすすめられていることを



あいさつする田上武・実行委員会会長



講演する西島藤彦・中央本部書記長

憂慮し、今後の闘いの課題としていく必要性を強調した。また、昨年6月和歌山県議会の意見書採択を紹介し、部落解放基本法から30数年、なかなかすすまない法制定に向け各級議員への働きかけを強めていくので、構成メンバーのみなさんにも協力をお願いしたいとよびかけた。

主催者あいさつで田上武・同実行委員会会長は「差別撤廃、人権擁護を求めて活動をつづけてきたが、期待していた民主党政権下での法制定をみなかったことは残念。衆院選につづいて参院選での自民党圧勝で目の前が真っ暗になった。秘密保護法、集団的自衛権、そして有事には民間徴用ということまででてきた。今



深真樹さん

日までもすすめてきた私たちの運動を再構築していかなければならない」と述べた。来賓として、北山芳宏・県人権局長、山本光弘・和歌山市審議監があいさつし、ともに人権行政確立へ尽力する決意を参加者に示した。

総会では特別報告として、西島藤彦・中央本部書記長が「人権侵害救済法」をめぐる情勢について」と題し、人権侵害救済法や救済機関について世界的な情勢を紹介し、日本が人権侵害の救済に際しては非常に後退国であること、それゆえ、国連からたびたび勧告を受けている状況を説明

環境問題と向き合う 第1回人権啓発シリーズ講座

和歌山人権研究所が主催する人権啓発シリーズ講座第1回が7月31日、中央コミュニティセンターでひらかれ、会員はじめ55人が参加した。

「大気汚染問題今・昔ー健康被害の裁判から話題のPM2.5までー」と題して、林美帆・あおぞら財団公益法人公害地域再生センター研究員と栗本知子・同研究員から西淀川公害の概要と現在のとりくみが報告された。林・研究員から、大阪

西淀川大気汚染裁判は、95年3月に被告企業との間で和解が成立し、西淀川地域の再生のために設立された。公害を前面に出さずに地域再生をすすめることは難しいが、語り部や地域の声を冊子にしたり、さまざまな利害関係をとりのぞくことで、西淀川区は子育て世代に人気が高くなっている。小学校が1校増えたことが報告された。また、環境省大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」が紹介され、自分たちの住む地域の大気汚染物質が一目でわかる。これをきっかけに環境問題と向き合っ

移動保健所検査事業 5者で会議

同和企業センターで8月4日「移動保健所健康検査事業」五者会議をひらき、県連、県、和歌山市、新宮市、県立医科大学、当該支部が出席した。

し、一日もはやい法制定を求め、ともに闘っていきましょうとよびかけた。深真樹さん、勇退
人権行政に尽力
総会終了後、これまで同実行委員会の構成メンバーとして、長きにわたり人権

行政確立に尽力され、今年6月に高野山真言宗金剛峯寺社会人権局長を勇退された深真樹さんの慰労会がひらかれ、参加者とともに思い出話に花をさかせ、深さんの今後ますますの活躍を祝った。

今後の日程

- 10 / 10 Y住宅販売会社差別事件第3回 糾弾会 (東京)
労働政策・産業振興両運動部会議
- 10 / 16 住環境運動部会議 / 教育文化運動部会議
- 10 / 17 全国生活福祉運動部ブロック別 交流会 (大阪)
- 10 / 20 ~ 22 第48回全国研究集会 (京都)
- 10 / 23 狭山統一ビラ行動
- 10 / 30 部落解放・人権行政確立要求第2次中央集会 (東京)
- 10 / 31 狭山市民集会 (東京)

■各市町村・振興局交渉

- 10 / 15 有田振興局
- 10 / 16 紀の川市
- 10 / 17 伊都振興局
- 10 / 24 新宮
- 10 / 27 東牟婁 / 和歌山市

■狭山学習会

- 10 / 10 善明寺
- 10 / 28 杭ノ瀬 / 田辺

■支部大会

- 10 / 28 杭ノ瀬支部女性部



60年代の西淀川を説明する
林美帆・研究員

ほしいと訴えた。

松井辰也・生活福祉運動部副部長より「差別事件を契機に実態調査をおこなう、地域の低位な実態が明らかになったことでの事業がはじまった。また、部落では高齢化がすすんでいるなかで、健康力を高めるとともに、いま言われている健康寿命を高めていくためにも今後も、少しでも良い事業としてすすんでいきたいと思う」とあいさつがあった。また、環境省大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」が紹介され、自分たちの住む地域の

支局までお送り下さい。(発送先) 〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連会内 解放新聞和歌山支局宛

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思っております。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。